

Wilderness Medical Associates International

『ウィルダネス・ファーストエイド』

野外・災害救急法のご案内です



『野外・災害救急法』とは

(ウィルダネスファーストエイド)

現場第一線で鍛え上げられた、
“ウィルダネス状況下” に特化した救急法です。



※ウィルダネス状況

＝医療機関での処置をまでに長時間を要する状況

ウィルダネス状況下

ATの活動分野は、その多くが「ウィルダネス状況下」と言えます。

- 過酷な自然環境
- 限られた携行資材
- 医療機関での処置（決定的処置）
を受けるまでに時間を要する

※ 定義-1つでも当てはまればウィルダネス。

たとえば、こんな状況下で…

- 災害被災状況
- 過酷な自然環境での救護活動
- 携帯電話の電波が入らない場所
- 避難方法を含む総合的な判断を求められる
- インバウンド顧客に対して、
世界基準の救護体制と対策を求められる

最大限の威力を発揮します

具体的には

- ・ **人体構造に基づいた** 傷病判断
- ・ **野外環境が人体に与える影響** を考慮した処置

を独自の教育手法

『クリティカルシンキング』で導き出します。

これまでは想定外とされていたことを、

『想定内』へと変えていく救急法です。

「都市型ファーストエイド」

- ① 通報：容易にできることが前提
- ② フォーカス：生命危機となる問題があると仮定して行動
- ③ スパン：救急車到着までの約10分のショートスパン

「ウィルダネス・ファーストエイド」

- ① 通報: 容易にできないことが前提
- ② フォーカス: 生命危機を見極めることから始める
- ③ スパン: 医療機関での処置を受けるまでのロングスパン
 - ✓ 傷病の判断: 現状の問題の判断と処置、
 - ✓ 処置計画: 時間経過と環境による傷病の悪化を予期し、
処置から避難までを総合的に計画し行動に移す

カリキュラムの設計者

WMAは北米本部の救急医や救助隊経験者、アウトドアプロガイドによって、医療をベースにアウトドアや災害を想定した専門的なカリキュラムが創られています。

WMAは創設者のDr. Gothや、現カリキュラムディレクターのDr. Johnsonが最新で最善の医療情報を常に考察し、リアルタイムにカリキュラムをアップデートするシステムを持っています。



Dr. Peter Goth

Dr. David Johnson

WMAJ医療アドバイザーによる バックアップ体制

アウトドアの世界に精通する医師・看護師による医療アドバイザーによって、クオリティコントロールや事例の検証チームなどを立ち上げ、日本国内におけるWMAカリキュラムの質の維持に努めています。



【左から】

中村富士美(看護師)
〈国際山岳看護師〉

稲垣泰斗(医師)
〈救急/集中治療〉

茶谷奨(医師)
〈精神科救急〉

WMAInternational 野外・災害救急法

- 約40年前に北米にて発祥した
ウィルダネス・ファーストエイドの世界的なパイオニア
- カリキュラムは医師と救助のプロにより考案
- カリキュラムには毎年、改良が加えられる
- インストラクターは医療資格や豊富な救護経験もち、
山岳ガイドや野外教育指導のプロでもある
- 年間受講者は11,000人以上
- 2007年の日本導入から13年ほどが経過
- 31ヶ国で開催



WMAInternational 実績

オーストラリア、	マカオ	メキシコ
ベルギー	チベット	パナマ
ブータン	フィンランド	ペルー
ボリビア	グアテマラ	ルワンダ
ブラジル	ガイアナ	シンガポール
カナダ	アイスランド	台湾
チリ	イタリア	タンザニア
エワティニ	日本	タイ
アメリカ合衆国	ケニア	ウガンダ
中国	コソボ	英国
香港	マレーシア	ウクライナ

以下の制度に導入

- アメリカ山岳ガイド協会 (AMGA)
カナダ山岳ガイド連盟 (ACMG) の必須資格
- アメリカの医師免許更新に必要な単位に指定
- アイスランドでは国営レスキュー部隊の
公式トレーニングに採用



国内実績

例えばこんな方々が受講しています・・・

- 医療従事者(医師・看護師・救急救命士)
- 災害対応関係者(自衛官・警察官・消防士)
- アウトドアガイド(登山・ラフティング・カヤック 他)
- 教育者(教師・自然学校職員)
- 施設職員(南極昭和基地・山小屋・自然体験教育施)
- アウトドア愛好家(トレイルラン・MTB・登山)
- アスリート(アドベンチャーレーサー)

※ プロアマ問わず、様々な方からご参加頂いております。

以下の制度に導入

- 長野県知事認定「信州登山案内人資格制度」
 - 必須救急法の一つとして指定
- 安曇野市「English Speaking Hiking Guide」資格
 - 必須救急法として指定
- 運輸局 「平成 30 年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」
 - 安全管理講習として指定
- 運輸局 令和2年度予定 AT人材育成事業
 - 必須救急法として指定

- 国立 北海道教育大学「アウトドアライフ専攻」
 - 2年次必須単位として指定
- 特定非営利活動法人 川に学ぶ体験活動協議会
(所管 国土交通省・環境省)
 - RACTレーナー 必須救急法として指定
- 東京都「自然保護指導員(都レンジャー)」
 - 必須救急法の一つとして指定(平成27年)
- 東京都自然ガイド講習(三宅島・御蔵島)
 - 安全管理講習として指定

- 警察山岳救助隊 他 保安系救助部隊
救急法トレーニングとして指定
- 北里大学 選択体育トレッキング
 - 安全管理講習として指定
- 岡山理科大 フィールドワークセンター
 - 救急法トレーニングとして導入
- その他、主要なアウトドアカンパニーの
スタッフトレーニングとして指定

記事提供・監修

- 岳人
 - ランドネ
 - Bicycle life
 - 山と溪谷
 - fam
 - Jレスキュー
 - Prehospital Care
 - 各種機関紙
- ほか



Wilderness Medical Society

1983年2月15日に設立されました。荒野やバックカントリー環境で働く医療関係者にアドバイスやガイダンスを提供しています。

(Wikipedia)



WMAの発足から2年後に立ち上がった学会組織へ初期から参画団体として加盟し、同じく野外救急法プロバイダーの”WMI”, ”SOLO”と共にガイドライン作りに寄与しています。

WRMC award 2015

北米最大の野外教育機関NOLSが主催する年に1回の大規模なアウトドアカンファレンス「Wilderness Risk Management Conference (WRMC)」において、WMA代表のDr.David Johnsonが2015年にアワードを受賞しました。



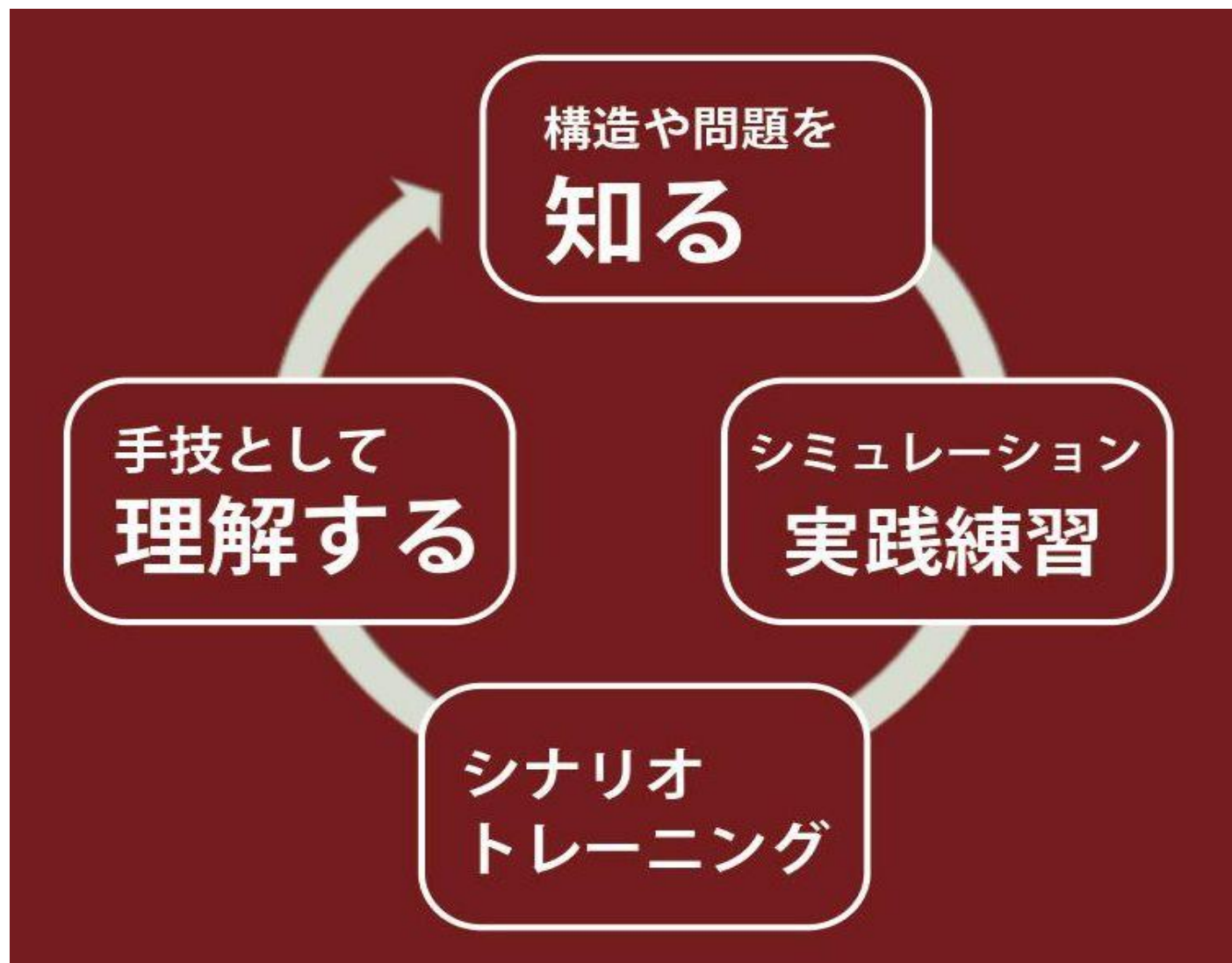
このアワードは、野外教育および冒険家に対するリスク管理に多大な貢献をした個人を表彰するものです(NOLS HPより)

Wilderness Risk Management Japan

2017年に北米WRMCを手本に発足した、「日本版WRMC」組織において、WMAJでは発足当初よりこの任意団体の代表理事職を担当しています。



「腑に落おちる」教育手法



クリティカルシンキング

講義と実技を通じて…

- 情報の幅広い収集・組み上げ
- 優先順位をつけた傷病リスト作成
- 変化する状況に合わせた柔軟な判断
- 判断の検証



☞ インストラクターによるファシリテーションで
現状における最良の選択を自ら選び
実行に移します。

徹底したリアリズム

実技では…

- 傷病者への徹底した演技指導
- 怪我や病気の再現とメイクアップ
- 悪天候でも野外環境で行い、傷病者の容態変化も再現

☞ インストラクターによるストレスコントロールで実際の現場に近いリアリティーを実現し、最大限の学びの環境を維持



国際資格 認定コース

(集合研修コースおよびハイブリッドコース)



WFAベーシックレベル

- ・規定時間16～20時間
- ・野外ボランティアや災害ボランティア
- ・趣味でアウトドアを楽しむ人など



Wafa アドバンスレベル

- ・規定時間36～40時間
- ・ガイド・指導者・登山パーティーのリーダーなど



WFRプロフェッショナルレベル

- ・規定時間36～40時間(Wafa資格保持者のみ)
- ・現場ディレクターやチームの意思決定に関わる人

カスタムワークショップ

(集合研修型およびハイブリッド型)

- ✓ 特徴: 資格発行はありませんが、経費効率よく
大人数の方に学びを提供することが可能です
- ✓ 時間: 半日～終日までの間の任意
- ✓ 内容: 対象者と目的に合わせてカスタマイズ
- ✓ 形式: ①集合型研修プラン
②オンラインで事前学習 & 実地プラン

一般社団法人

ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン

WMAInternationalの公式日本支部として
野外・災害救急法の国内普及をミッションとしています

【お問い合わせ事務局】
東京都練馬区石神井町7-32-19
03-6763-0030
www.wmajapan.com
info@wildmed.jp

